

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第190号	氏名	三嶋 亮介
学位審査委員	主査 関根 一郎 副査 兼松 隆之 副査 永安 武		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 オステオポンチン(OPN)はTh1 サイトカイン誘導に起因するクローン病での関与が報告されている。本研究は OPN と炎症性腸疾患、とくに Th2 の炎症とされる潰瘍性大腸炎(UC)の関連を探ろうとした研究で目的は明確である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 血漿 OPN 濃度や IL-12, IFN-γ の測定方法および手術材料を用いての免疫染色による OPN の局在の検討といった研究手法は妥当であった。</p> <p>3. 結果考察の評価 クローン病のみならず UC においても血漿 OPN 値が有意に上昇すること、血漿 OPN 値と UC の clinical activity index との間に正の相関を認めたとする研究結果は炎症性腸疾患の病態解明に大きく寄与したと評価できる。</p> <p>以上のように本論文は炎症性腸疾患の研究の進展に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			